



なぎちょう 奈義町

3月議会

議会だより



信頼される議会をめざす

(後列左より) 定森久芳・芦田 元・須一玲子・野々上美智明
(前列左より) 中井泰洋・岡 立・岡部英生・森藤政憲・上原伸介・小阪四郎

166号

令和5年5月1日発行

発行 奈義町議会
編集 議会広報委員会
〒708-1392
岡山県勝田郡奈義町
豊沢306-1
☎(0868) 36-4191

【おもな内容】

- 3月定例会で決まったこと 2～3ページ
- 予算審議と予算の概要について 4ページ
- 一般質問（8名） 5～13ページ
- 総務常任委員会、まちづくり常任委員会報告 14～15ページ
- 議長・副議長あいさつ、議会構成、編集後記 16ページ

予算について 討論に4人

《 条例 》 13件

条例の名称	概要と出された主な質疑	審議の結果
奈義町個人情報保護法施行条例 その他関係条例1件	国の法律改正に伴い、奈義町の条例を抜本的に作りなおすもの。議員から、個人情報を守るのか、との質疑があった。	賛成多数で可決 (賛成8、反対1)
奈義町高等学校等就学支援金支給条例の一部を改正する条例	これまでの、年額13万5000円から24万円(月額2万円)に増額するもの。	全員一致で可決
奈義町育英金貸与条例の一部を改正する条例	奈義町に帰ってきて居住する間は、これまでの半額から全額免除に拡充するもの。	全員一致で可決
奈義町子ども園に関する条例の一部を改正する条例	名称を、「なぎっ子子ども園」にするものです。議員から、公募の結果も公表しオープンにすべき、との質疑があった。	賛成多数で可決 (賛成7、反対2)

その他、8件の条例について審議し原案通り可決した。(全員一致)
制度の詳細は、担当課にお聞きください。

令和5年第1回定例議会が3月7日から23日まで開かれ、**条例14件、補正予算8件、当初予算10件、報告1件、(人事案)同意3件、設置2件、選任2件、その他2件の合計42件**を審議し、**原案通り決定**しました。



高校生の通学(ナギテラス)

《 補正予算 》 8件

補正予算	概要	審議の結果
一般会計(第8号)	歳入、歳出から9000万円を減額するもの。人件費760万円の減額、空き園舎の活用事業費1700万円の減額など。	全員一致で可決

その他、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計など7件の補正予算について審議し原案通り可決した。主には、年度末の調整。(全員一致)

《 その他 》 1件

議案	概要	審議の結果
奈義町有機センターの指定管理者の指定について	有機センターの管理を、晴れの国岡山農業協同組合に指定管理委託するもの。期間は令和10年3月31日迄の5年間。	全員一致で可決

3月 定例議会

令和5年
3月7日～23日

令和5年度一般会計 賛成、反対

《当初予算》10件

予算種類	説明	審議の結果
一般会計	総額71億9000万円（4ページに掲載） 4人が討論を行った。下記に紹介。	賛成多数で可決 （賛成7、反対2 芦田、森藤）

反対討論 森藤 政憲／評価できる点はあるが、増え続けるこども園の事業費や予算の80%以上が委託である地方創生事業など問題がある。

賛成討論 野々上美智明／こども園の建設費の削減は、設計の見直しと、工事の中断を必要とし、開園時期の遅延などの混乱を生む。また、町の財政状況からも問題ない。

賛成討論 定森 久芳／一般会計予算は賛成するが、こども園建設については、これ以上の費用増額を控え早急な完成を求める。

賛成討論 中井 泰洋／5年度予算は、将来の奈義町を創っていくための重要な予算である。補助金、助成金等は活用し、将来への道筋をつくるべき。

予算種類	説明	審議の結果
特別会計	国民健康保険特別会計、介護保険特別会計など6件。	全員一致で可決
企業会計	上水道事業会計、下水道事業会計など3件。	全員一致で可決

《同意》3件

議案	氏名・地区・年齢	審議の結果
副町長の選任同意	金田知巳氏 （滝本・57歳）	賛成多数で同意 （賛成8、反対1）
教育委員会委員の任命同意	永幡英明氏 （皆木・66歳）	全員一致で同意
固定資産評価員の選任同意	金田知巳氏 （上段と同じ）	賛成多数で同意 （賛成8、反対1）

（いずれも任期は4年間）

《報告・設置・その他》

- **報告**…専決処分（奈義町心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例）を全員一致で承認。
- **設置と選任**…議会の特別委員会設置（演習場対策特別委員会、こども園・中学校調査特別委員会）と委員（全議員）の選任。
- **その他**…議員発議で、休会中といえども、所管事務の調査を進める事を決定。

《議員発議・条例》1件

議案	概要	審議の結果
奈義町議会の個人情報の保護に関する条例	議会事務局が有する個人情報について、その保護について明記するもの。	全員一致で可決

予算特別委員会報告

定例会初日の7日に本会議で付託を受け、3月14日、15日に委員会を開催した。
委員長に上原伸介議員、副委員長に岡立議員が互選された。

主な質疑は以下のとおり。

一般会計

問：地方創生事業について、委託料の割合が多いが、どう考えているか。また費用対効果は出ているか。

答：官民連携、官民協働という視点で、委託料を計上している。費用対効果については、合計特殊出生率や新規創業者数などで、目標を達成している。

問：中学校、こども園の事業費について、今後も物価高騰による増額が想定される。現在決定している額を区切りとして、今後についての検討、見直しをする考えは。

答：施工業者、管理業者、奈義町とで現状を確認しながら、経費を安く抑える方法を常に検討している。賃金または物価の変動に基づく請負契約の変更というものが契約の条項にうたわれており、インフレに伴う事業費の増額というものは、避けて通れないものだと考えている。

特別会計・公営企業会計

問：可能であれば介護保険料の引き下げを検討すべきではないか。

答：基金の残高も活用し、県平均との差を軽減できるよう検討していきたい。

問：下水道事業の合併処理浄化槽について、予算では10戸の設置を予定しているが、今後の見通しは。

答：家屋のリフォーム時に、浄化槽の設置を相談されるものが数件ある。

令和5年度 予算の特徴

一般会計当初予算は、71億9,000万円

■一般会計の歳入の主なもの

※町民5,751人（令和5年3月1日現在）

項目	予算額	構成比（%）	町民1人当たり
税収	7億2,287万円	10.1	12.5万円
町債（借金）	15億8,760万円	22.1	27.6万円
地方交付税	20億4,000万円	28.3	35.5万円

■一般会計の性質別歳出の主なもの

項目	区分	予算額	構成比（%）	町民1人当たり
義務的経費	人件費、扶助費、公債費	18億1,169万円	25.2	31.5万円
消費的経費	物件費、補助費等維持補修費	23億1,993万円	32.0	40.0万円
投資的経費	普通建設事業費、災害復旧費	22億9,106万円	31.9	39.8万円

※万円未満四捨五入

町政を問う

一般質問

ページ	議員名	質 問 項 目
6	上原 伸介	1. これからの奈義町政 ◇3. 教育の「方向性」 2. 災害対策
7	定森 久芳	1. 中山間地域における水田の施設改修 2. 畜産農家における飼料高騰対策
8	須一 玲子	1. 高齢者の居場所・支援 2. ホームヘルパー（訪問介護員）
9	野々上美智明	1. 一人ひとりを大切に高齢者も輝く町づくり 2. こども園の開設準備状況 3. 役場職員の有為な人材の確保
10	森藤 政憲	1. 奥町長の政治姿勢 2. 物価高騰対策 3. 子育て支援策のこれまでの検証 4. 役場職員の大量中途退職者
11	芦田 元	1. 6年度開園計画の認定こども園 ◇2. 学力低下への対策 3. いじめ問題の対応 4. 地域の農業振興と土地利用型農地の維持
12	小阪 四郎	1. 高齢者が健康に過ごせるまちづくり 2. 住まいのエリア 3. 農業
13	岡 立	1. 奈義町の町民をワンチームにするには ◇3. 奈義町まるごとデジタル化とマイナンバーカード、ナギフトカード 2. 学校教育の充実

議会だよりに記載できなかった質問には、◇が付いています。

Q 今期の方向性は

A すべての施策を『人口維持』に



上原 伸介 議員

質問 町長は初就任からこれまでの4年間、その大半を新型コロナウイルス感染症とともに過ごすことになった。この影響で、就任当初に思い描いていた事業構想については、大きく足止めをくらう結果になったのではないかと推察する。

そして現在、それもようやく終息の兆しが見えてきた。この騒動を境に激変した人流の動向に対して、各自治体がどのような施策を講じていくのか、その手腕が問われる段階にきている。奈義町を守っていくうえで、今後どのような分野に力を注いでいこうと考えているか。

また一方で、「町民の声を聞け」というフレーズをよく耳にする4年でもあった。これは、町長の想いと町民の感覚との間に、スピードのギャップがあるからだと思うが、どうか。

答弁 町長 これまで同様、子育て支援と高齢者の生活応援のバランスを図りながら、若者に

魅力のあふれるまちづくりを目指していく。全ての施策を人口維持に向け、優しさと思いやりで、誰もが暮らしやすいまち、人が人を呼ぶ憧れのまち、そして将来にわたり永続できるまちづくりを進める。

また行政というのは、ある程度のスピード感をもって行うことが必要だと考えている。しかし、その前に、町民との対話を繰り返すことで、理解を得ながら進めていくことが大切だとも考えている。

Q 災害に応じた組織編成を

A 基本は、自助・共助・公助

質問 災害には様々な種類があり、それぞれに規模や対策内容が変わってくる。

想定される災害ごとに、即時対応可能な組織編成をしておくべきではないか。



いつ起こるか分からないからこそ事前対策を

答弁 町長 災害対策の基本は、自助、共助、公助であると考えている。普段から災害に対して備えておく「自助」、皆で助け合う「共助」、そしてその最後の支援となるのが「公助」である。このことを念頭に、災害対策を進めていきたい。

また、災害が起こる前に、被害をいかに小さくするかということも視野に入れて、進めていく必要があるとも考えている。



定森 久芳 議員

Q 中山間地域である水田の暗渠排水等施設改修は

A 人・農地プランを策定する中で、計画性のある農地整備を検討する

質問 奈義町の水田は圃場整備を実施してからすでに30〜40年以上経過し、暗渠排水が壊れてきている。その影響で湿害が発生し、大豆（黒大豆）、麦などが被害を受け、作付けが出来ないような圃場が増えてきている。奈義町全体で国庫事業を活用して、補助率が高く、少ない自己負担で圃場整備のやり直しが出来れば一番いいと思うが、まずは暗渠排水のやり直しから始めることは出来ないか。

答弁 町長 本町では現在、水路や暗渠排水について本来の機能が発揮できていないところがある。町では平成27年度から令和2年度にかけて、集落営農法人や地区が、圃場の乾田化対策として必要な農業機械を導入するための経費を補助し、14地区で機械が整備されている。しかし、水田水張り5年ルールの導入など、水田をフル活用していくには、効率的かつ最適な農地の基盤整備を考えていく時期が

来ている。各地域で策定されている「人・農地プラン」を、今後10年間のマスタープランとなる地域計画としてつくり上げていき、農地の所有者、耕作者の意向確認を行い、先進地の事例などを参考にしつつ、計画性のある農地整備の計画を研究していきたい。



柿地区のフォアス実施圃場

Q 畜産農家における飼料高騰対策は

A できる範囲で支援を行う

質問 奈義町は畜産の町と言われているが、令和2年後半から円高の影響で飼料の原料となる

トウモロコシ、大豆、小麦などが高騰し、濃厚飼料が1・5倍、輸入牧草は2倍以上に高騰しているため、今のままでは経営が成り立たなくなってきた。町として小規模経営の畜産農家を含めた支援として、例えば濃厚飼料の使用量に応じた継続的な価格補填のような具体的支援が出来ないか。

答弁 町長 我が町の農業の中心である畜産業について、離農意向が増加する状況を踏まえ、畜産業者の支援、酪農経営緊急対策支援金を交付するなど対策を講じている。しかしながら、配合飼料の価格は高止まりしており、町としては、今後の国及び県が実施する飼料価格高騰対策の状況を見ながら、小規模経営の畜産農家を含めた支援策を検討する。また、餌の自給率向上のため集落営農法人で稲わら収集の取組が出来るとなれば、機械導入助成も検討したいと思う。

Q 高齢者の居場所作りは

A 大いに研究・検討していく



須一 玲子 議員

質問 高齢者の暮しを考え、空き家等を利用して若い人も子ども達も皆で寄り添い楽しい時を過ごせる場所作りを取り組むべきだと思うがどうか。

答弁 町長 今、町の取り組みとして地域サロン17カ所、百歳体操15カ所、老人クラブ20クラブ、町が委託をしているデイサービス等、生活支援を行っている。居場所づくりは、すばらしい取り組みだと思うが法律の関係もあるので町として大いに研究・検討していくものと考えている。

Q 男性ヘルパーも必要では

A 人材確保に努めている

質問 高齢者のホームヘルパー、訪問介護について聞くが、女性ヘルパーは気遣い手際もよく、ありがたいが、反面男性高齢者に対しての男性ヘルパーさんも必要ではないか、考えを伺う。

答弁 町長 介護職全体で人材

不足も懸念されており、人材の幅広い確保に努めている。しかし、現状では奈義町に男性ヘルパーはいない。

Q 高齢者に補助金等の充実を

A 補聴器購入助成を行う

質問 高齢者に対しての思いやり補助金が必要だと思うが。

答弁 町長 令和5年度から補助金として補聴器購入に対して最高5万円の給付を実施する。令和6年、7年、8年の3年間の介護保険料の低減に向け、検討する予定である。



楽しい、うれしい



野々上美智明 議員

Q 一人ひとりを大切に高齢者も輝くまちづくりへの取組は

A 高齢者の居場所づくり、給食サービスの向上、光熱費の高騰等対策に取り組む

質問 町長の選挙における政策ビラ「新興の手」の最初の記述での取組、高齢者の居場所づくりと給食サービスの向上、課題を抱える人たちの支援の充実について具体的な取組を問う。

答弁 町長 高齢者の居場所づくりは、地域サロン、生き生き百歳体操、老人クラブの活性化や幼稚園園舎の引越し後の活用等を検討する。

給食サービスは、なぎみ苑に委託し現在51名へ提供しているが、提供数には余裕がある。また、今年1月の大雪の際の対応を踏まえ、各地区・自主防災組織、民生委員、福祉委員や事業者との連携を図り、災害時も含めたサービスの継続に努める。

光熱費の高騰対策は、上水道料金の減免を令和5年度も6カ月間継続して行い、その後は情勢をみて判断したい。



こども園の建設状況 (R5.4)

Q こども園の開設準備状況は

A 各種委員会を設置し、協議検討を進めている

質問 ソフト面、人員配置等の体制面での準備は。

答弁 教育長 本年秋の県への報告を踏まえ、検討を進めている。課題は、職員の配置であり、保育教諭、養護教諭、栄養士等の必要数を確保できるよう、計画的に募集を行っていききたい。

答弁 教育次長 開園関連行事の内容や、登園時の交通集中への対応のルール化等も今後検討を進める。

Q 役場職員の有為な人材の確保への取組は

A 必要な人材の確保に取組み、勤務環境改善も検討する

質問 今年に入り一般企業での給与増額等の処遇や勤務環境改善が大きく報じられている中、正職員採用数の増加や職員の勤務環境改善への町としての取組を問う。

答弁 町長 町の行財政改革実施計画に基づき90名程度の正職員を維持できるように計画的、継続的に職員採用を行っている。給与や手当の増額は、国の基準もあり難しいが、宿・日直勤務については、以前の調査で、職員から手当の支給継続を希望する意見もあり、職員の意向も確認しながら、役場のサービスが低下しないで改善できるのであれば検討する。

Q 町長選での批判票を どう受け止めているか

A 真摯に受け止める



森藤 政憲 議員



物価高騰の中、値上がった卵

質問 先の町長選挙では奥町長に49%もの批判票があった。この声を、どう受け止めているか聞きたい。

答弁 町長 真摯に受け止めている。町が二分され、今後の発展に弊害が起らないようにしたい。

Q 物価高騰対策は不十分では

A 足りない状況があれば、補正でも対応

質問 令和5年度予算では、世帯向けの水道基本料金の減免はあるが、全町民への給付金は1円もない。物価対策は不十分ではないか。

答弁 町長 水道基本料金を6カ月分の減免を予定している。もし、足りないという事であれば、財政状況も見ながら、補正でも対応したい。

Q この20数年間の子育て支援策の検証を

A 岸田総理の来町などが、客観的な評価はあるが、必要ならば実施

質問 この20数年の子育て支援の取り組みで、今日の「子育て支援の町―奈義町」があるが、今、検証を行う必要があるのではないか。特に、チャイルドホーム、しごと園については、その役割について検証をする必要があると思うが。

答弁 町長 岸田総理の視察や

テレビ、新聞等で取り上げられるなど客観的な評価が出ている部分もあると思うが、必要ならば、検証は行いたい。

Q 10名にも及ぶ大量の中途退職者。その要因は

A 職業選択の自由もあり、辞める理由はそれぞれ

質問 10名という、大量の中途退職者が出ている。町長のパワハラも要因の一つではないかと思うが町長は、どう考えているか。

答弁 町長 職業選択の自由もあり、辞める理由もそれぞれである。厳しい指導が要因では、と言われるが、全体の奉仕者として頑張っただけで、と考えている。



芦田 元 議員

Q こども園の安全管理は

A 危機管理マニュアルを策定し、実施する

質問 こども園の職員計画と子どもの成長に合せた具体的保育教育の目標は。

答弁 教育長 国の基準どおりとし、働きやすい職場づくりを検討している（職員計画50人規模）。平成30年度に一貫教育目標を設定、継続し指導計画を開園に向けて策定している。

質問 周辺整備も含め、こども園の建設総額は大幅に増高している。精査と削減の検討をする考えはないか。

答弁 町長 契約は17億2000万円と新年度予算で備品購入費5170万円を計上。施工管理の中で協議出来るところは、やっている。

Q いじめの問題解決の対応は

A 教育委員会で対策基本方針を定め実行

質問 岸田総理ほかが見察され、日本全国のモデルとして報道さ

れた子育ての町である。いじめ問題は、学校だけでなく、保護者、地域社会全体が考え、いつでも起こる切実な問題と考えるがどう取り組んでいるか。

答弁 教育長 いじめ問題対策基本方針を毎年度見直し策定しており、県教育委員会に報告し、学校と連携し検討協議を進める。

Q 新たな基盤整備と担い手育成支援を

A 調査研究をする

質問 担い手と地域農業の振興のため、米以外の作物の大規模化栽培が出来る専用機械の導入支援、効率的生産が出来る基盤整備とフォアス灌水設備の設置をすべきではないか。

答弁 町長 地域と経営者のニーズ調査を行い必要な支援策を研究する。基盤整備は地域ごとの状況、集約化等の考え方も違うので、研究を進めていく。

効率的な専用機械と圃場整備



Q 空き園舎に健康ジムはどうか



小阪 四郎 議員

A 幅広い様々な意見を頂戴している



高齢者の体力増進のためにジムを

質問 人生100年時代が来たと
言われている。男性高齢者にも外に出て活躍をしてほしいと思う。高齢者が身体を健康に保ち、会話が楽しめる居場所として空き園舎を活用し、カフェを併設したようなジムを作ってはどうか。子育ての町として注目されているが、高齢者も健康で安全安心に過ごせるまちづくりも必要と思うが。

答弁 町長 幅広い活用方策のご意見を頂戴している。町の将来に有益なものとなるよう、町民の皆さんや民間事業者の方の協働により活用を進めたい。

Q 住まいのエリア整備を一日も早く進めるべき

A 早急な対応が必要だ

質問 新しい住まいのエリア4・

5ha（豊沢住宅跡地）について、東西幹線道路と上水道、下水道を2年以内につくる決意を伺う。

答弁 町長 町内の賃貸住宅が不足していること、町の方譲宅地が完売したこと、早急な着手が必要だと認識をしている。今、奈義町に移住の動きが出ていることから早急な対応が必要だと考えている。

従来の整備方法にとらわれず、経費の抑制と事業期間の短縮を図れる整備方法を検討する。民間活用が図られた場合、一日も早く町財政負担を抑えながら新しい住まいのエリアの整備を進めたい。

Q 農業は持続的な施策が必要だ

A 奈義町の強みである
耕畜連携を進めたい

質問 農林水産省の農政を見てみると、農業者を生かすのか、殺すのか、理解に苦しむところが多い。耕畜連携を基本に一貫性を持って持続的な施策を行ってほしいと思うが。

答弁 町長 農業という基幹産業を基軸とした、奈義町だから出来る強みの農業施策の展開と魅力ある持続可能な農業を築いてまいりたい。



期待される住まいのエリア
（豊沢住宅跡地）



岡 立 議員

Q 奈義を「ワンチーム」にするには

A 町民に愛されて、意思が伝わるのが大切

質問 僅差での町長当選後、この小さな町の中が、ぎくしゃくしているように感じるが。

答弁 町長 選挙結果は、真摯に受け止めている。

町がこのまま割れてしまい、町の発展に支障をきたすような事は、誰も望んでいないと思う。皆さんと力を合わせこれからも、公正公平に行政を進めていく。

質問 この僅差を考えれば、どこかを少し変えていく必要があるのでは。

答弁 町長 私の至らなかつた点は、言葉足らずという事もあつた。しっかり説明すべき場面であつた。なかなか時間がとれなかつたことを反省している。

質問 そればかりではないのではないか。ぜひ町民を愛し、町民から愛されるようになってほしいと思うが。

答弁 町長 町民に愛され、私の意思が伝わっていくことが大切。そういう思いで仕事をやっていく。

Q 学校教育の充実は地域の皆さんの力も借りて取り組む

質問 学校版スクリーニングを行なった結果、見えてきた課題はあるか。

答弁 教育長 問題点を見つけるものではなく、問題の未然防止に役立つものと考えている。

質問 早急な対処と効果はどうか。

答弁 教育長 チーム会議で、適切な担当に早くつなぐことができ、教員の感覚としてもいいものになっている。

質問 学校へ行きたくないという子どもたちの声を聞くが、スクリーニングで原因が分かるのか。

答弁 教育長 コロナを含め多様な原因があるが、スクリーニングでは、そこまでは分からない。

質問 行きたくない理由を調査してみる必要はないか。

答弁 教育長 スクリーニングやアンケート等を組み合わせながら、手当てをしていきたい。

質問 新しい中学校は自由空間の多いつくりになっているが、そのための授業計画は考えているか。

答弁 教育長 子どもたちの価値観も非常に多様化している。学校や教員だけの教育は、難しくなっている。

地域や、学校運営協議会の力も借りて、取り組みたい。



建設が進む中学校

委員会報告

総務常任委員会

総務常任委員会は、総務課、税務住民課、こども・長寿課、新型コロナウイルス感染症対策推進室、学事課、こども園・中学校開設準備室、生涯学習課、学芸図書課が所管する事業について審査を行います。

■委員長：岡 立 ■副委員長：野々上美智明 ■委員：岡部英生・森藤政憲・小阪四郎

【生涯学習課】

ジム(B&G)の有効利用について

Q B & Gには、トレーニング機具がそろっているが、週に1度でも教室が開けないか。

A 研究したいと思う。

【新型コロナウイルス感染症対策推進室】

さと丸乗り合い交通、人気上昇

Q さと丸バスの運賃が100円になり、ありがたい、との声を聞いている。来年度も検討をお願いしたい。

A 来年度も予算化している。

さと丸乗り合い交通

さと丸バスが100円の運賃となり、ありがたい、との声も聞く。令和5年度も予算化。



【こども・長寿課】

補聴器購入助成始まる

Q 4月から補聴器購入に助成がされる予定だが、手続きは。

A 65歳以上で、耳鼻科の証明書が必要。費用の½以内で、上限5万円。詳しくはこども・長寿課へ。

【税務住民課】

可燃ごみを減らすために

Q 可燃ごみの搬入量が増えている。「生ごみ処理機」を推進してはどうか。

A 生ごみを減らすためにも、生ごみ処理機の補助金のPRを積極的に進める。

まちづくり常任委員会

まちづくり常任委員会は、情報企画課、産業振興課、地域整備課、こども園・中学校建設推進室が所管する事業について審査を行います。

■委員長：上原伸介 ■副委員長：中井泰洋 ■委員：芦田 元・須一玲子・定森久芳

【情報企画課】 ふるさと納税について

Q ふるさと納税に対する返礼品を、もっと増やすことはできないか。

A 新しい返礼品を開発することは難しいが、ブランディング等で見せ方を工夫していきたい。

【情報企画課】 光ファイバー譲渡後の対応について

Q 一人暮らしの高齢者も増えている。スマートフォンを渡して終わりではなく、サポートにも力を入れていくべきでは。

A 奈義しごとえんのよろず相談所やスマートフォン教室を利用していただき、まずは慣れていただきたいと考えている。



新しい住まいのエリア

単に賃貸住宅や分譲地をつくるだけではなく、このエリアの魅力づくりに向けて、新しい住まいのエリア検討調査委員会でご意見をいただいている。

【産業振興課】 山の駅の運営について

Q 経営体制やPRのやり方など、見直しを図るべきではないか。

A 収入については、コロナ前にだいたい追いついてきている。今年度は赤字解消に努めていきたい。

【こども園・中学校建設準備推進室】 アスベスト調査について

Q アスベストに関する追加費用は、町が全額負担することになるのか。

A アスベストの除去については、国に55%の補助があり、交付金を得られるよう調査を行っている。

議長就任あいさつ



議長 岡部 英生

2月15日開催された第

1回臨時会におきまして、議員皆様から議長のご推挙を賜りました。この責務の重大さに身の引き締まる思いでございます。行政と議会は車の両輪

と言われるように、バランスを保つためにも「追認機関」でも「抵抗勢力」でもない、市民の皆様が目線に立って行政と対等に渡り合える議会へと力量を身に付け、職務に全力を傾注する決意でございます。

町民の皆様におかれましては、引き続き議会に對しまして、ご支援、ご理解を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

副議長就任あいさつ



副議長 森藤 政憲

この度、副議長の任を受ける事となりました。責任の大きさを痛感しています。

今、議会に対しては、期待の声と同時に批判の声も聞こえてきます。議会は、市民の負託を受け、執行部と対等の立場で付度することなく、監視を強めていく役割があります。民意がどこにあるかを常に心がけながら取り組んでまいります。ご指導ご鞭撻をよろしくお願ひ致します。

議会構成決まる

(令和5年2月15日)

◎委員長 ○副委員長

常任委員会	
総務	まちづくり
◎ 岡 立	◎ 上原 伸介
○ 野々上美智明	○ 中井 泰洋
岡部 英生	芦田 元
森藤 政憲	須一 玲子
小阪 四郎	定森 久芳

議会運営委員会	議会広報委員会
◎ 中井 泰洋	◎ 森藤 政憲
○ 岡 立	○ 芦田 元
小阪 四郎	須一 玲子
上原 伸介	定森 久芳
	野々上美智明

監査委員
小阪 四郎

特別委員会	
演習場対策	こども園・中学校調査
◎ 上原 伸介	◎ 小阪 四郎
○ 野々上美智明	○ 芦田 元
外議員 8名 (議員全員で構成 (議長を含む))	外議員 8名 (議員全員で構成 (議長を含む))

(令和5年3月23日設置)

組合議会議員

議会名	氏名	
津山圏域消防組合 (1名)	上原 伸介	
勝英衛生施設組合 (2名)	芦田 元	定森 久芳
勝田郡老人福祉施設組合 (2名)	須一 玲子	野々上美智明
津山広域事務組合 (1名)	中井 泰洋	
津山圏域資源循環施設組合 (1名)	岡 立	

【編集委員】

委員長 森藤 政憲
副委員長 芦田 元
委員 須一 玲子
委員 定森 久芳
委員 野々上美智明
議長 岡部 英生



鯉のぼり舞う季節となりました。新しい議会構成で私たちが議会広報を担当する事となりました。楽しみに待っていただけの議会日より、議会の議論が分かる議会だよりを目指し頑張ります。皆様のご意見をお寄せ下さい。(森藤政憲)

編集後記